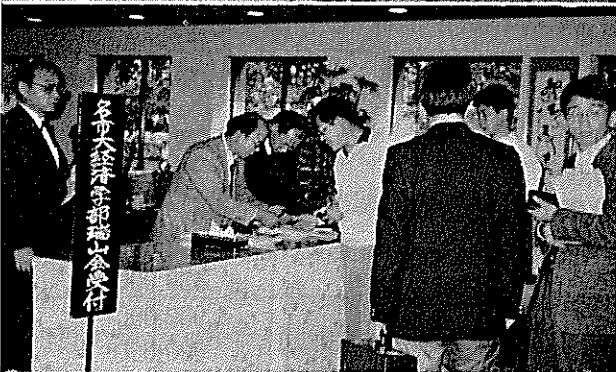
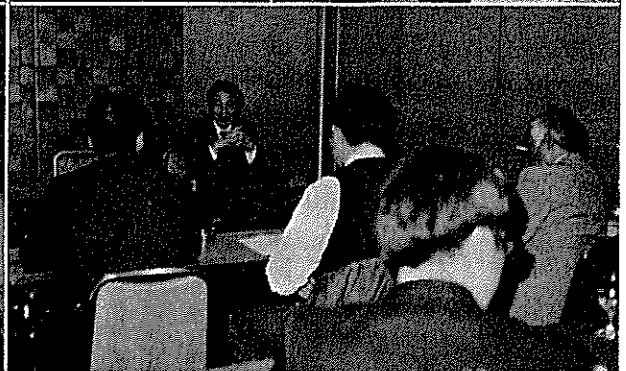


瑞山会会報 第15号  
平成3年3月1日発行

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部  
名古屋市瑞穂区瑞穂町宇山の畑1(名古屋市立大学経済学部内)



平成2年度 通常総会  
開催される

平成2年度通常総会兼代議員会報告

<日 時> 平成2年11月17日  
 <場 所> 熱田神宮会館  
 <平成元年度> 瑞山会名簿(追録)の発刊、  
 経過報告 瑞山会会報の発行(13号、14号)  
 事業部の活動(テニス大会・  
 大学祭他)  
 <平成2年度> 瑞山会名簿(第4号)の発行  
 事業計画 瑞山会会報の発行  
 卒業祝賀会助成  
 会員親睦会の実施(事業部の  
 活動)

成績優秀者表彰(平成2年度卒業生)

<理事選出> 会則により選任されました。

瑞山会役員

◎理事

所属部	氏名	年次	ゼミ名
会長	前田 勝昭	1	岡崎
副会長	近藤 常夫	1	平田
"	多和田 真己	4	岡崎
"	佐藤 克己	8	岡崎
庶務部長	八木 得三	5	山本
副 "	大矢 邦博	20	多和田
庶務部	渡辺 尚泰	3	柴田
"	高垣 茂寿	5	山本
"	杉本 仁	8	藤田
"	荒深 美和	9	木村
"	倉知 弘美	14	松永
"	木村 剛	17	辻

"	小笠原 幸生	6	中原
編集部長	手塚 祥郎	1	牛嶋
副 "	山田 雅也	3	松永
編集部	榊原 茂	1	松永
"	伊藤 幸雄	5	妙見
"	鈴木 正彦	7	芝原
"	田中 喜夫	7	岡崎
"	寺沢 賢治	11	牛嶋
"	石川 雅子	13	牛嶋
"	水野 誠	13	宮川
"	松川 倫典	16	塩見
"	服部 篤典	18	安藤
"	石川 勇治	21	上村
"	柴田 光晴	22	神松
事業部長	逸見 和弘	1	松永
副 "	杉浦 晴義	5	松永
事業部	都島 忠比古	3	山本
"	木村 新政	5	岩橋
"	伊藤 明	5	柴宮
"	加藤 実	6	宮中
"	岡田 美津雄	10	居井
"	岡村 範久	15	松野
"	村岡 柳一	19	星野
"	畔島 完二	22	妙見
名簿部長	中村 正治	5	木山
副 "	伊藤 孝	6	山本
会計部長	坂野 修	2	山本

会計報告

	〈収支決算書〉		〈収支予算書〉	
	第12期(平成元年度)	第13期(平成2年度)	第12期(平成元年度)	第13期(平成2年度)
(収入の部)				
勘定科目				
会費収入				
新入学生	4,060,000		4,060,000	
その他	40,000		0	
小計	4,100,000		4,060,000	
会費外収入	297,715		500,000	
基金積立金とりくずし	0		420,000	
収入合計	4,397,715		4,980,000	
(支出の部)				
名簿発行費引当金	600,000		600,000	
名簿追録発行費	277,200		0	
会報発行費	319,040		280,000	
総会費	96,421		800,000	
新卒業生祝賀会費	0		200,000	
通信費	886,707		1,200,000	
事務運営費	953,940		1,150,000	
事業費	672,445		750,000	
予備費	0		0	
基金積立金	591,962		0	
支出合計	4,397,715		4,980,000	

## 企業年金

## — その政策動向と現状 —

経済学部長 上村 政彦

私の主たる研究テーマは、医療とか年金についてであり、今日は企業年金についてお話しします。

まず、企業年金の種類ですが、①(税制)適格年金 ②非適格年金 ③厚生年金基金の三つあり、最も典型的なものが①であります。

①は、昭和37年の法人税法改正によりできたもので、年金資金を社外に積み立てて、それを退職金支払いに活用するというもので、支払った掛け金は税金が免除されます。②は、社内年金と言われ、会社の中で適当に作っている制度で、税制上の恩恵も受けられません。③は、公的年金である厚生年金の報酬比例部分を会社の中にある企業年金とドッキングさせたもので、全国に約1,200の基金があります。次に企業年金の普及度ですが、適格年金の場合、従業員1,000人以上の企業は約62.3%ですが、全企業では約48.1%です。

このような企業年金が増えてきたのは、昭和40年頃からと言われています。最大の原因は、アメリカに適格年金のようなものがあって、それを日本が取り入れたということです。その後の原因としては、企業内の労働者の高齢化に対

応するため労務対策として企業年金が作られるようになったということです。

ところが、昭和60年初頭から企業年金をめぐる政策動向に転換が生じ、行政改革に添って社会保障は徹底的に押さえられ、年金の給付水準は押さえられます。その押さえられた部分を地方公共団体や企業などの中間集団に期待をするという方向になってきました。

しかし、政府の期待どおり、労働者の老後生活の安定化のため企業年金が積極的役割を果たしうるかという点、現時点ではあまり期待できないと思います。その理由は、現企業年金に、一般性(普及率が低い)、継続性、ポータビリティ(転職後の年金受給権の継承)、そして、実質価値の維持という点においていずれも障壁があるということで、期待できるものにするためには、企業年金のマイナス点を前提にしたうえで設計することが必要かと思えます。

最後に、社会保障の本質は何かということですが、“連帯”ということです。例えばEC(欧州共同体)は10年も前から加盟国が一緒の社会保障を行っており、もはや一国のワクに社会保障をとじ込めておく考えは将来的に問題となります。今後、私の長期的研究テーマの一つとして社会保障を本質論的に考えていきたいと思っております。

## 瑞山会第13回通常総会

「白い町」と呼ばれる名古屋。そのコンクリートジャングルの中の緑のオアシス。樹齢数百年の木々に囲まれた緑の地、「熱田の宮」。

今回の瑞山会第13回通常総会はその熱田の宮の中にひっそりとたたずむ熱田神宮会館で11月17日(土)に開催された。

総会・代議員会は物故者黙祷のあと、例年どおり前年度の経過報告及び当年度の事業計画が承認された後、会計報告がなされ決算及び予算が承認・可決された。

今回の記念講演会は、上村政彦学部長による

「企業年金—その政策動向と現状」と題するものであったが、演題が身近なためか、卒業生も自分の立場と比較対照するなど、じっくりと聞き入っていた。

記念講演を終え、部屋の外へ出てみれば、窓の外は晩秋の宵闇。会場を変え、懇親会が開かれた。

懇親会は、参加者も増えて夫婦、子供連れの姿もあちらこちらに見える中、卒業生の加藤美紀さんの司会で、東山みどりさん(昭和63年3月名市大卒)の歌や抽選会を交え、談笑の輪

が広まる熱気溢れるものであった。

東西、東西。ここもお目にかけるは2人の美女。

1人は、去年の9月にデビューして、はやはやのまだ湯気が立っているばかりの歌手「東山みどり」さん。

本名「中村彩子」。昭和63年の3月に名市大の経済学部を卒業したが、どういう訳か歌手になってしまったという変わり種。

身長153 と少し小柄だが、良い声をしているよ。歌は、「霧ものがたり」、「盛場 情話」。キングレコードからの発売だよ。

本人に会いたいという人は急がないと会えないよ。2月の25日までは長島温泉に出演しているから。

さて、残る1人。

CBCの美人アナウンサー「加藤美紀」さん。東山みどりに勝とも劣らない美人だ。この人も昭和63年3月の名市大経済学部の卒業生だ。

真面目に瑞山会の総会に出席している人は、懇親会での司会でちょくちょくお目に掛かっているはずだよ。

俺は不真面目で瑞山会の総会に出ていない。会ったことが一度も無い。一度会ってみたい。そういう人は私にお任せ下さい。

彼女、毎週金曜日の18時30分、日曜日の17時からのニュースワイドに出演しているから。朝が早くても気にならないという人なら土曜日の7時のジャスト・ナウ・アイチという番組だよ。

テレビを見ている暇が無い。それならラジオに下さい。金曜日お昼の12時30分のカトレア・ミュージックだ。

2人共、どういう訳か昭和63年3月の名市大経済学部の卒業生だよ。

皆も頑張って2人の応援をしてやっておくれ。頼むよ。 K. S.

## 第41回市大祭

第41回市大祭は、11月1日から3日間行われ、たいへん盛況であった。本年の市大祭にはコントのダチョウ倶楽部を招き、そのステージでは大きな笑いを誘っていた。

また、OBコーナーも今回で4回目となり好天に恵まれ、家族連れのOBや、近年の卒業生の顔も多見られた。次回の市大祭には是非皆様もご家族でお出かけください。



バンドコンテストで優勝するぞ！



最高得点更新中！（OBコーナー）

# ゼミナール紹介

## 山田ゼミナール

私達山田ゼミナールは、一応専攻は財政学ということになっていますが、3年生は経済白書から自分の興味ある項目を選び、それを研究し発表、また4年生は、各自、自由なテーマで卒業論文に取り組んでいます。このように、ゼミ生は財政学にとらわれることなく、自分の興味あるテーマを自由に研究しています。それだけに、研究発表の際は、山田先生の厳しい質問の嵐の中、学生は全員冷や汗とあぶら汗を同時に流しながら、非常に苦しい時間を過ごさなくてはなりません。

その一方で、旅行やスポーツなどの楽しい活動も行なっています。例えば、春の蓼科荘での合宿の際には、全員でテニスに夢中になり、冬はスキー旅行でゼミの親睦を深めます。また、毎年行われるソフトボール大会には、山田先生が全試合参加してくださり、平成元年にはゼミ優勝経験もあります。また、ゼミの必修科目として、なぜかカラオケもあります。

まだ山田ゼミナールはあまり有名ではありませんが、とても温かくアットホームな雰囲気、他のゼミにはない良さがあると思います。



## 辻ゼミナール



辻ゼミは開講以来10年以上経過し、OB・現役合わせて100名を越える規模になった。「よく学びよく遊ぶ」をモットーにOB・現役の結束を図っている。雑誌『経済セミナー』で全国的に紹介された名市大唯一のゼミである。

ここ数年のゼミでの学習内容は、マクロ経済理論の研究とその日本経済分析への応用が中心である。ゼミ生による自発的な研究の成果は、中部学生ゼミナールや日本学生ゼミナール大会(インゼミ)で発表されている。ゼミ生は、モータリスト、運動部員、ボランティア活動家等多彩である。ただ、ソフトボールでは運がなく、優勝が悲願である。国際的視野を持つ学生の育成に留意していて、OBの中にはコロンビア大学ビジネス・スクール、ロチェスター大学大学院の留学生もいて、現在4名が英米で活躍している。

就職先は金融機関、名古屋市職員や国税専門官等の公務員、地元メーカーが多いが、近年は上場一部の全国的企業への就職も増加している。ただ残念なことは、優秀な女子卒業生が結婚で家庭に入ることである。毎年一回定期的にOB会を開催しているが、常時50名以上の出席者で盛況である。目下、OB会の名称を募集中である。

## 国際交流協定 名市大と豪NSW大の間で締結



平成2年11月17日から11月24日にかけて、名市大経済学部の根津教授と私、大学事務局の柴山事務局次長がオーストラリアに渡り、ニューサウスウェールズ（NSW）大学と「研究者交流協定」を結びました。名市大が国際交流協定を結ぶのは今回が初めてであり、この協定によって両大学の研究活動の促進と相互理解及び友好関係の一層の発展を期しています。ニューサウス

ウウェールズ大学は1949年に設立された州立大学で、名古屋市の姉妹都市であるシドニー市の近郊に位置し、10学部にて2万人の学生が学ぶオーストラリアでも屈指の総合大学です。

名市大では5年前から大学の国際化を目指して学内に国際交流委員会を設置し、提携先を選んでいましたが、NSW大学商経学部には日本経済の専門科目も多く、市大経済学部との研究交流も活発だったことからこの協定が実現しました。当面は市大経済学部とNSW大商経学部の経済学科および日本経済・経営研究センター間の教員の交流を内容としていますが、将来的には学生の交流や、他学部との交流も目指しています。写真は調印に立ち会った人達で、左から今回の協定の橋渡しをされたM.C.ケンプ教授、W.パーセル日本経済・経営研究センター所長、J.ナイランド商経学部長、根津永二教授、R.ミルボーン経済学科長、私、R.マーチ日本経済・経営研究センター副所長、S.フィッツジェラルド アジア・オーストラリア研究所長です。

名市大経済学部助教授

多和田 真（4期生）

## 平成3年度経済学部生募集要項 および経営学科新設について

平成3年度の学部生募集にあたり、本年度同様に一般選抜と推薦選抜で行われる。募集要項の概略は以下の通り。

一般選抜は、大学入試センター試験と本学における個別学力検査（数学・英語）による。個別学力検査は、A日程（2月25日75名募集）、とB日程（3月5日105名募集）に分割して行われる連続方式を取り入れている。

一方、推薦選抜は30名程度の募集であり、対象者は高等学校の推薦書を要し、大学入試センター試験を受験している者である。

新年度から、経営学科の募集を行うので若干募集人員が増加される。入試と入学は同じであるが、経営学科への振り分けは2年次への進級時に行われる。経営学科生には経済原論に代わり経営学原理が必須科目となる。又経営管理総論などが新たに開講される。

## 事業部だより

昨年10月27日（土）に第16回名市大OBゴルフコンペが、中日CCにて行われました。優勝；藤原悟氏（1期生）、準優勝；西垣英昭氏（1期生）でした。次回開催は4月20日（土）中日CCを予定しています。毎回5組確保しておりますが、4組程度の参加しかなくまだ余裕がありますので、お友達お誘い合わせの上ご参加下さい。またテニス大会は昨年名市大テニスコートで行われ、先生方にもご出席いただき大変好評でした。本年も同様に5月3日開催の予定ですので奮ってご参加ください。

事業についてのお問い合わせは、下記にご照会下さい。

逸見和弘（1期生） ☎ 自宅（052）914-6221  
勤務先（052）502-7871